

会場4-6【長野県】文化学園長野高等学校中高自然科学部 発表を見た方からの感想

- 棚田整備や森林整備など自然とふれあう活動をしていることがわかった。学校内、外での活動を通じて自然の変化を観察していることがわかった。飯山の自然の中で、自然のありがたさや大切さを感じているのだとわかった。
- 自然との『ちょうどいい』付き合い方というのはどのようなものなのかとても気になったが、自然に住む生物を傷つけないといったような付き合い方だと知り、多くの人や企業がそのような付き合い方を出来たら、これからの日本はよりよく進化していけると考えることができました。ありがとうございました。
- 自然のなかでの活動を通じて、自然から取れるものの活用方法や自然との付き合い方、森林整備の仕方等を学んでおり、自然についての知識・理解が深まっている様子にとっても興味を持った。また、発表の構成がわかりやすかった。
- 大学の授業で多く人は自然を守るために自然に手を入れてはいけないと思っているということを勉強しました。今まで人間が自然に手を加えすぎて破壊してきたという過去があるため、自然に手を入れるのは良くないことだと思っている人が多くいます。自然を守っていくためにも自然に適度に手を入れる必要があることを多くの人に知ってもらおう飛鳥があるのではないかと思います。今回学んだことを知識にとどめておかず、実際に使える生きた知識にできるようにこれからも活動して行ってください。
- 特に「人間の手が入ることによって守られている美しい自然がある」という言葉が心に残りました。人間が破壊してしまう自然もあれば、人間の手によって守られている自然があるのですね。自然の恵を感謝しながらよい付き合いができるようになったら良いですね。
- 森林などの自然と人間が共生していくために自然のことの知識を紹介したり、活動の中で農法のやり方やその反省点を活かした改善をしたりすることでよりよい畑になっていくことを学んだ。また学んだことから応用して活用していくことで自然を持続的に保っていくことができると感じた。
- 森林整備が人間にとっても自然にとっても利益があるという事や、共生農法の方法及び利点等、自然と人間の関わり方について学べる素晴らしい発表でした。また、実際に行動した内容を詳細に発表していたので、自然を活用する事の大変さを私自身改めて再確認しました。
- 協生農法というものを始めて知りました。持続可能な生活のために、昔からある生活の知恵を振り返ってみることも大切だなと思います。与えてもらった機会を生かして学びを深めていて素晴らしいと思います。
- 自然に手を入れるのが必ずしも悪ではないという言葉がとても良いなと思いましたし、私自身そう考えてしまっている部分があったので学びにもなりました。自然とうまく付き合っていく、人と自然の共生というのがこれからのキーワードになってくるのだなと思いました。

- 自然との関わりを大事にしながらさまざまな活動に取り組んでいることが伝わりました。知識として学ぶだけでなく、実際に自分たちの手でやってみることで学べることの幅がとても広くなると感じました。「共生農法」について初めて知ったためそんな育て方があるのかと驚きました。
- 自然と人間がウィンウィンな関係を築くことを目指して活動していることが伝わってきました。自然に手を加えるとなると、マイナスなイメージをもつことが多いですが、自然にとってプラスのはたらきをするということもあるという気づきが得られていて素晴らしいと感じました。意識をしっかりと行動に移すということを、私も見習いたいと思いました。
- 活動理念の2つ目の自分でできることを増やすというのが素晴らしいと思いました。自然環境の保全をしていくことは重要だと分かっているにもかかわらず実際にできる事ではないと思います。自分自身でできることを増やそうという意識そしてそれを実行に活かすエネルギーが持続可能な社会の実現につながるのだなと感じました。
- 只見町立只見中学校の発表にもつながる特に面白い発表でした。今後、協生農法でどれだけの作物が作れるかとても気になります。文化学園長野高等学校中高自然科学部でしかできないであろう活動だと思いました。応援しております。
- 文化学園長野高等学校中高自然科学部の発表で、自然とのちょうどいい付き合い方をすることで、自然にとっても人間にとっても利益のある WIN WIN な関係が築けるという考え方について学べたと思います。また、その理想的な関係を築くことには様々な生物が関わっており、トライアンドエラーが繰り返されているということを知りました。手を加えずに作物を育成する活動では、肥料などを使わずに育てあげ、食材をとることの大変さについて知り、一概に肥料がダメとか環境に悪いとは言えないということ学びました。私も自然と人間の付き合い方について考えていきたいです。
- 私たちが日ごろから自然の恩恵を受けて生活しているということを忘れてはならないと感じた。私の家でも農業を行っているので、食物に対してありがたみを感じながら生活を送ろうという意見には非常に共感した。より多くの方が自然に対して思いをはせることが、環境保全につながるのだと思う。
- 田んぼを作るという経験の中から森林整備やカエルの卵の運用方法など普段知り得ない要素をこの経験から掴んで自分たちで作物を作ろうという姿勢は素晴らしいと思いました。これからもどうぞ頑張ってください。
- こちらの発表を聞いて、「自然」との向き合い方について考えさせられた。自分でできることを増やしたり、自然との良い付き合い方を考えたり、あるいは、自然そのものを愛することであったり、様々な自然との向き合い方があることを学んだ。これからも、少しでも多くの人に自然の大切さを広げていけるように願っています。応援しています。
- 自然との関わり方や自然に関することを楽しみながら学んでいる様子が伝わってきました。自然の美し

い姿を改めて気づくことができ、とてもいい取り組みだと思いました。学校では目標を設定していて活動をしていて、目標に対して活動ができることがいいと思いました。自然と人間の関わり方を考えていこうと思いました。これからの活動も楽しみにしています。

- 「自然とちょうどいい付き合い方をする」ための方法として、協生農法という方法があることを初めて知りました。自然と共生していくためには、「自然に負荷をかけず、人間の負担も少ない付き合い方」をしていくことが大切なのだと学びました。ひとりひとりが自然との関わり方を考えることが大切だということで、私も自然について自分ごととして捉える姿勢を大切にしていきたいと思いました。
- 自然とのちょうど良い付き合い方を模索するという活動方針の一部に感銘を受けました。実際に、ただお米の収穫までをやってみたり、畑で農作物を育てたりするのではなく、人が手を加えることでどのような変化が見られるのかを研究しておられるようです。そこが園芸部などとは違う点なのかと思いました。
- 今回、はじめて「協生農法」という農業形態を知り、とても興味深い試みだと感じました。発表者の方がおっしゃられていたよう、面倒臭がりな自分たちだから、というような理由があって、自らの悪い点を逆手に取りに自分の探究に活かすというのがおもしろい発想だと思いました。自然との関わり合い方について、今一度自分も考え直してみようと思える良い機会でした。
- 自然科学部という活動とても新鮮でした。森林整備や森林探索、畑の管理など普段何気なく過ごしている私たちには味わえないことを経験している皆さんがとても羨ましいです。今しかできないことを十分に楽しんで十分に学んでいってください。応援しています。
- 理念や目標に向かって、行動するのは当然のように出来ることでは決してありません。しかし、しっかりとした活動理念を持って、活動理念に沿った活動をしているのはすばらしいことだと思います。人間が環境問題を引き起こしている現状がある中で、皆さんの活動や発表は必ず世界を良い方向へ持っていくものになります。これからも活動を続けていって、色々な人に伝えて言ってください。私も応援しています。
- 米作りや森林整備、協生農法という実際に体験しながら行う活動を通して多くの学びを得ていることが伝わってきた。やってきた結果を踏まえて、来年・これからの活動はどうするのか、どんなことをしていきたいのかが明確になっていることが素晴らしいと思った。
- 部活としての活動の中で自然環境の問題に対する解決策を探る姿勢、自然と共に学んでいく姿勢が素晴らしいと感じました。長野という自然豊かな環境を活かして、主体的に学ぶ姿勢をしっかりと身につけていくことは大切ですし、今後の自分自身の成長においても大きく影響を及ぼしていくと思います。是非これからもこのような活動を続けていって欲しいと思います。